90分で分かるサーバ証明書の最新動向 ~いまTLSとトラストが熱いんです~

パネルディスカッション



パネルディスカッション

パネリスト

- 大津繁樹氏(ヤフー株式会社)
- 島岡政基氏(セコム株式会社 IS研究所)
- モデレーター
 - 木村泰司(日本ネットワークインフォメーションセンター)



HTTPS使ってますか?

- ○全部
- ○一部
- ○まだ
- ○使うつもりはない



「常時SSL化」できない 理由は何です?



ディスカッション



(導入前) HTTPSを導入するために 何を考えればいいの?



HTTPSを導入するために 何を考えればいいの?

常にソフトウェアを最 新にする。 設定すればいいレベル に洗練されてきた。間 違った知識を踏まない ように。

大津さん

スライドあり



Mozilla SSL Configuration Generator

世-バを選択 lla SSL Configuration Generator
● Apache ○ Nginx ○ Lighttpd ○ HAProxy ○ AWS ELB ○ Apache ○ Nginx ○ DopenSSL Version 1.0.1e ○ Old ○ HSTS Enabled ○ バージョンなどを指 定
apache 2.2.15 intermediate profile OpenSSL 1.0.1 Lliple Oldest compatible clients: Firefox 1, Chrome 1, IE 7, Opera 5, Safari 1, Windows XP IE8, Android 表示される
ら利用可能な設定か確認できる
SSLEngine on SSLCertificateFile /path/to/signed_certificate SSLCertificateChainFile /path/to/intermediate_certificate SSLCertificateKeyFile /path/to/private/key
Uncomment the following directive when using client certificate authentication #SSLCACertificateFile /path/to/ca_certs_for_client_authentication
HSTS (mod_headers is required) (15768000 seconds = 6 months) Header always set Strict-Transport-Security "max-age=15768000"
intermediate configuration, tweak to your needs SSLProtocol all -SSLv2 -SSLv3 SSLCipherSuite ECDHE-ECDSA-CHACHA20-POLY1305:ECDHE-RSA-CHACHA20-POLY1305:ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA258:ECDHE-RSA-AES128-GCM-S SSLHonorCipherOrder on

(導入済み) HTTPSと証明書の運用で 考えるべきことは?



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

HTTPSと証明書の運用で考えるべきことは?

将来的な短期化に備え自動化。

自動化。(弊社これからですごめんなさい)

大津さん



色々「熱い」ようですが、 どの証明書を使ったらいいの?



どの証明書を使ったらいいの?

すっかりコモディティ 化した。最後はサポー ト。

大津さん

自動化されたら証明書の主な外部リスクは認証局BAN。よってサポート重要。



Webブラウザは今後どうなって いくのか



Webブラウザは今後どうなっていくのか

十分でかくなった。 IoT時代を乗り切れる か。 (ルートストアプロバイダの側面だけ)質から量へ。 無謬性から可用性の世界へ。

大津さん



(もう一歩つっこんで) 今後、どうなっていくのか



今後、どうなっていくのか

Googleがブチ切れる 未来の先にある世界。

大津さん

IoT用クライアントや プライベートなTLSな ど、プライベートな空 間だが多様なクライア ントで、という状況は 増えつつある。

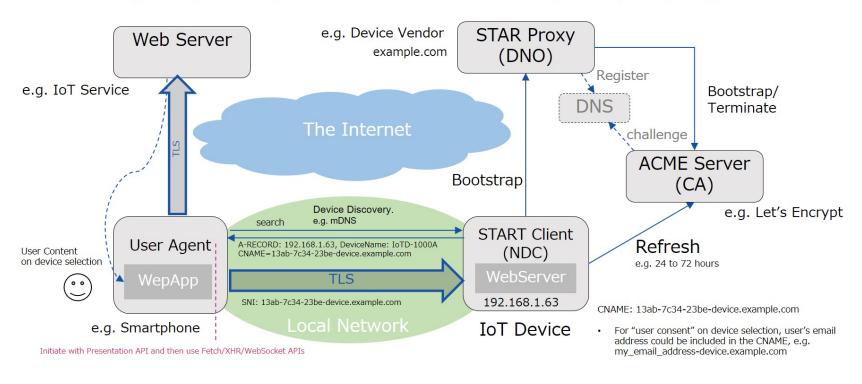
スライドあり



ローカルネットワークでのTLS(一例)

HTTPS in local network featuring **STAR**

- IoT device is configured to get a short-term server cert. via STAR Proxy and refresh the server cert. with ACME server
- On TLS handshake with IoT device, Use Agent verifies the server cert. with CNAME in Device Discovery
- For User Content, User Agent shows green colored DeviceName and CNAME by checking with "pre-flight".



私たちがウォッチしていくべきもの。考えておくべき事。



私たちがウォッチしていくべきもの。 考えておくべき事。

PKIステークホル ダーの寡占化、独占 化。

スライドあり

大津さん

認証局インシデント。 プライベート空間の TLS。



おわり

